

安全データシート（SDS）

作成 2026年4月1日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名称 センサ内部液
製品型式 EA-30WE
(主成分 塩化カリウム)

会社情報

会社名 株式会社 イワキ
住 所 埼玉県入間市野田 1 2 4 1 - 1
担 当 品質管理担当
TEL. 04-2931-1271 FAX. 04-2931-1276

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：区分2B <シンボルなし>

(※) 記載なきGHS分類項目及び区分は「該当せず」「区分外」「分類できない」

GHSラベル要素

注意喚起語：警告

危険有害性情報

眼刺激

注意書き

応急措置

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合、医師の診断・手当てを受けること。

3. 組成及び成分情報

混合物／単一化学物質の選択 混合物

成分	含有量(Wt%)	化学式	CAS番号	化審法番号	
水	約 80%	H2O	7732-18-5	-	
塩化カリウム	約 20%	KCl	7447-40-7	1-228	【 安衛法 既存化学物質 】

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚（又は髪）に付着した場合、

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合、医師の診断・手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は医師の診断・手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状 <吸入もしくは飲み込んだ場合の症状>

咳、咽頭痛、下痢、吐き気、嘔吐、脱力感、痙攣

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消化剤

周辺設備に適した消化剤を使用する。
この製品自体は燃焼しない。

特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒なガスを発生するおそれがある。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火を行う者の保護

適切な呼吸保護具、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項
上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。
封じ込め及び浄化の方法及び機材
感操砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、容器に回収する。
二次災害の防止策
漏洩物を回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(火災・爆発の防止)

熱・火花・裸火・高温のもののような着火源から遠ざけること。

局所排気、全体換気

排気・換気設備を設ける。

注意事項

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

安全取扱注意事項

保護手袋、保護衣、保護面、保護眼鏡を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

取扱中は飲食、喫煙してはならない。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

安全な容器包装材料

ポリエチレン

混触禁止物質

強酸化剤

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取り扱う。

洗眼設備を設ける。

手洗い・洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡（側面シールド付安全メガネ等）・顔面保護具を着用する。

衛生対策

取扱後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状态

形状：液体

色：無色

臭い：無臭

pH：データなし

初留点／沸点：データなし

融点／凝固点：データなし

分解温度：データなし

引火点：引火点はない

自然発火温度：データなし

爆発特性：データなし

蒸気圧：データなし

蒸気密度：データなし

比重・密度：約 1.145g/mL

溶解度：水に対する溶解度 任意の割合で混和する

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の保管条件・取扱条件において安定である。
避けるべき条件
混触危険物質との接触。加熱。
混触危険物質
強酸化剤
危険有害な分解生成物
塩化物、カリウム酸化物

1 1. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報
急性毒性
塩化カリウム 急性毒性(経口)
Rat LD50=3020mg/kg (SIDS, 2001)
局所考果データなし
感作性データなし
生殖細胞変異原性データなし
発がん性データなし
生殖毒性データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露/反復ばく露) データなし
吸引性呼吸器有害性データなし

1 2. 環境影響情報

生態毒性
水生環境有害性(急性)
塩化カリウム 甲殻類(材ミジンコ) EC50=660mg/L/48hr (SIDS, 2001)
残留性・分解性データなし
生体蓄積性データなし

1 3. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法
内容物・容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

1 4. 輸送上の注意

国連番号、国連分類
国連番号に該当しない
輸送の安全対策及び条件
輸送に際しては直射日光を避け、容器のもれのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。

1 5. 適用法令

毒物及び劇物取締法 該当しない。
労働安全衛生法 該当しない
消防法 該当しない
化学物質管理促進(PRTR)法 該当しない

1 6. その他の情報

参考文献および参照HP
GHS分類結果データベース NITE(独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP
GHSモデルSDS情報 中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP
化学大辞典 共立出版
等

記載内容は作成時に入手できた情報に基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。
記載データや評価について安全性を保証するものではありませんので取り扱いには充分注意してください。
注意事項は当製品についての通常の取り扱いを対象にしたものであって、それ以外については、ご使用者の責任において安全対策を実施の上
お取り扱い願います。